

新型コロナウイルス感染症の影響による

出願についての注意事項

2021年8月27日

神田外語大学

2022年度春学期の交換留学生の募集に関し、「出願案内」記載内容に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、受け入れ可否の条件や、通常時でない手続きなどがあります。本注意事項記載の内容を十分に理解の上、出願手続きを進めてください。

また、今後さまざまな変更が発生することが予想されます。情報は随時更新されますので、あらかじめご了承ください。

1. 受け入れ可否の判断について

(1) 日本国政府による海外からの入国に関しての方針や、各国・地域における状況および本邦の入国措置の状況等を踏まえて、**10月末に**受け入れ可否の判断を行います。感染拡大の状況次第では、受け入れを見送る判断をせざるを得ない可能性がありますこと、ご了承の上、出願のご検討をお願いいたします。

なお、現在多くの国・地域が日本国政府により「上陸拒否対象地域」に指定されています。また、留学生の新規入国は一時停止となっています。

(2) 受け入れ中止となった場合、出願準備にかかった諸費用についてはすべて出願者自身で負担して頂くこととなります。これら費用を本学が補てんすることはできません。

(3) 受け入れ中止となった場合、2022年度春学期もオンラインで日本語・日本文化プログラムを提供できるように検討しています。

2. 受け入れ条件について

出願者は、下記の条件を満たす必要があります。

(1) 日本入国時の措置の遵守

入国時に隔離（現在のところ14日間）等の措置が適用されている場合、本学指定業者を通じて手配していただき、指示事項を必ず守ってください。入国前の準備および入国時に求められる全ての措置にかかる費用については、出願者自身で負担して頂きますのでご承知おきください。この期間にかかる費用は、およそ20万円です。また、その場合、隔離期間を考慮して、早めに入国する必要があります（3月中旬）。

なお、この感染状況により、入国前、入国後に必要な手続きが変わる可能性があります。措置の詳細はタイミングをみてお知らせいたします。

(2) ワクチンの接種

入国時までには、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種を完了していることとします。少なくとも2回のワクチン接種を完了しており、2回目の接種から14日間経過している必要があります。別途、ワクチンの接種証明の提出を求める可能性があります。

(3) ビザの発給

入国までに、留学ビザが発給される見込みである必要があります。発給が間に合わないと判断される場合、受け入れを中止する可能性があります。

在留資格認定証明書（COE）発給に通常より時間がかかる可能性があります（通常は申請後審査結果が出るまで2カ月程度かかります）。COEが発給されましたら出願者に送付しますので、受け取り次第速やかに本国の日本国大使館または領事館にて学生ビザの申請をしてください。ビザ申請に必要な書類や発給にかかる日数は国・地域によって異なります。事前に大使館または領事館に確認しておいてください。

(4) その他

今後、新たな措置や状況の変化があった場合、受け入れの条件を追加する可能性があります。

3. 注意事項

(1) 学生寮の利用について

感染拡大防止の観点から、寮の利用は見送る可能性がありますのでご注意ください。住居に関する情報は後日お知らせします。

(2) 国際郵便の遅延について

国際郵便の遅延が予想されます。なるべく早く出願手続きをすすめ、期日にかかわらず資料が揃い次第郵送をお願いします。出願書類の提出が遅れるとCOE申請手続、ビザ発給が遅れ、新学期の授業開始に間に合わない可能性があります。

出願やビザ申請などに必要な、一部教育機関・公的機関からの証明書等の発行に時間がかかり、原本を期日までに提出できない場合があります。出願書類の郵送の前に、全ての書類の写し(コピー)を作成してください。

(3) プログラムの内容の変更について

2022年度春学期の留学生別科の開講科目やレベル設定等は、現在検討中です。変更になる可能性がありますので、ご了承ください。オンラインでの授業になる可能性を踏まえ、各自パソコンを持参することを強くおすすめします。